

●9月は基本的教育と識字率向上月間です。

室蘭北ロータリークラブ

会報

むらんど汁

室蘭岳



Rotary



2023~2024年度 国際ロータリーテーマ

CREATE HOPE in the WORLD

「世界に希望を生み出そう」

世界に希望を生み出そう 2023~2024年度 RI会長 ゴードン R. マッキナリー

2023年9月12日(火) 第2436回 例会

第2510地区 日本 (DISTRICT 2510 JAPAN) ●会長: 藤井 徹也 ●幹事: 岸田 理 ●編集: クラブ会報委員会 (担当/田中 健太)

本日のプログラム

卓話「第1部 室蘭ロータリークラブの課題と取り組み」
「第2部 当院における負傷動物保護」

室蘭ロータリークラブ
会長 中野 達雄 様
プログラム委員会



和食ランチ (とんかつ、ご飯、みそ汁、
香の物、フルーツ)

※例会終了後、定例理事会を開催致します。

次回の予定プログラム

卓話「ロータリーの変化」9月26日(火)

2020-2021年度
パストガバナー 福井 敬悟 様
プログラム委員会



洋食ランチ (生ハムサラダ、茸のコンソメ、
鮭のクリームソース、パン、バター、デザート)

※9/19(火)はクラブ指定休会となります。

第4回室蘭北RCゴルフ同好会コンペ

令和5年8月27日(日) 於

順位	名前	OUT	IN	GLO	HC	NET	備考
優勝	高岸 満則	42	46	88	15.6	72.4	
準優勝	廣瀬 禎	42	42	84	10.8	73.2	
3位	千葉 大和	43	44	87	12.0	75.0	
4位	斉藤 崇	46	46	92	16.8	75.2	
5位	徳永 悦枝	48	50	98	22.8	75.2	
6位	斉藤 聡	46	43	89	13.2	75.8	
7位	徳永 賢二	42	43	85	8.4	76.6	
8位	斉藤 珠代	54	49	103	24.0	79.0	
9位	猪俣 英二	52	52	104	24.0	80.0	BB
10位	小野寺浩二	47	49	96	15.6	80.4	

前々回までの例会の報告

第2434回(8月29日) 例会記録

【幹事報告】

- 本日18:30よりアパホテル室蘭においてクラブ協議会が開催されます。関係者はお集まりください。
- 9月5日(火)の例会は振替休会となっております。お間違えの無いようお願い致します。
- ツデーマーチについて
お手伝いに参加ご協力されます会員の皆様へ
開催日 2023年9月9日(土)・10日(日)
会場 洞爺湖温泉湖畔遊歩道広場
ロータリーブース
集合時間 8:45
朝礼 9:00
終了 16:00頃
(各クラブ14:00頃から順次終了帰宅)
※クラブジャンパー着用をお願い致します。
- 秋の「第21回ロータリー全国囲碁大会」のご案内
後程回覧致します。参加ご希望の会員の方は事務局までお申し込みください。
開催日時 2023年10月21日(日)
登録受付 9:30 開会式 13:00
表彰式記念撮影 16:00
場所 東京市ヶ谷の日本棋院本院
1F対局室
参加料 7,000円(朝食代・賞品代等含む)
申込締切 10月14日(土)
大会参加はメイクアップになり、定員100名
先着順

【委員会報告】

- 親睦活動委員会 宮本秀樹委員長より
親睦家族移動例会について
集合場所 アパホテル室蘭
集合時間 9:45
出発 10:00
※現金の使用はできません

- 例会場 アパホテル室蘭
- 例会日 毎週火曜日 12:30 P.M.
- 事務所 室蘭市中島町2丁目28-6
- 電話 0143-45-6569 ●FAX 0143-50-6578
- URL <http://murokita-rc.org/>
- E-mail mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp



卓話「ロータリーを知ろう」

クラブ広報委員会

委員長 菅原 正明 会員

プログラム委員会

皆さんこんにちは、今日は「もっとロータリーのことを知ろう」ということで、ロータリーの歴史を勉強いたします。

近年ロータリーに関する多くの文献から色々事柄が解かってきました。その中で最初の誕生からどのように物事が決まっていたのか、ご紹介いたします。

ロータリーの歴史を紐解こう

ロータリークラブ発足から118年が経ちました。

ロータリークラブの誕生についてのお話は様々な場所で語られていますが、その歴史をもうちょっと深く振り返ってみたいと思います。

今回はクラブ創設の動機や会合の歴史、そしてロータリークラブの名称がどのように決まっていたのかお話しします。

創立の動機 1905年2月23日 シカゴ

成功を夢見た人たちが集まった、無法と腐敗の町シカゴ。そんな街の中で心から信頼し、語り合える友人がいたら、どんなに素晴らしいことだろう。

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、職業道徳の欠如が目につくようになっていました。

この日ポール・ハリスはシルベスター・シールとマダム・ガリというお店で食事をしユニティ・ビル711号室ローアの事務所に向かいました。

待っていたのはガスターバス・ローアとハイラム・ショーレーでした。ここに4人が集まったのが、ロータリーの歴史の始まりです。

ここで、ポール・ハリスはこのような風潮に堪えかね、3人と語り、お互いに信頼の出来る公正な取引ができるような仲間を増やしたいという趣旨を話しました。

これが第一回目の会合とされています。

ところでこのユニティ・ビルは、すでに取り壊され、「711号室」として知られるこの歴史的部屋もなくなりました。

しかし現在、711号室は、ロータリー世界本部があるエバンストンに復元されています。

ポール・ハリス以外の3人について略歴などを一人ずつ紹介します。

ポール・ハリス

皆さんご存じの通りロータリーの創設者で初代国際ロータリー会長。弁護士で1868年4月19日ウィスコンシン州生まれ。当時36歳。

1910年から1912年にかけてロータリー会長を務め、1947年1月27日に他界するまで、シカゴ・ロータリー・クラブの会員でした。ハリス自らの希望で



シールの隣の墓に葬られた。

ガスターバス・E・ローア

鉱山技師で1864年10月18日イリノイ州生まれ。当時40歳。

最初の例会が行われたシカゴのユニティ・ビルの事務所711号室はローアの事務所でした。ロータリアンだった期間はわずか数年で、クラブでも国際レベルでも役職に就くことはありませんでしたが、ロータリーの創立に加わった数年後に彼はこの世を去ったが、彼を知る者は皆、彼の死を悼んだ。

シルベスター・シール

石炭商で1870年メイン州生まれ。当時35歳。

1905年シカゴ・クラブの初代会長。1945年に国際ロータリー3代目の財務長。際立って人なつこく、とつき易い人柄でした。両親はドイツ人で子供の頃かなりの辛苦を味わって育ち、誰の援助も得ずにシカゴで石炭の商売を成功させ、兄弟親戚には面倒見のよい人物でした。

1945年12月17日にその生涯を終えマウント・ホープ墓地にハリスと共に並んで眠っている。

ハイラム・ショーレー

洋服仕立て業で1862年6月インディアナ州生まれ。当時42歳。

クラブの初年度には、書記係を担当。ロータリアンとして数年間活躍した。優しくて気持ちの良い性格で社交好きな人物でした。しかし、彼は途中、やむを得ない事情があったため会員を辞めているが、ロータリーへの関心を失うことなく、運動の草創期の思い出を大事にした。1944年3月に亡くなりました。

では会合の歴史についてですが

第1回目の会合

4人というのは1回目だけで、歴史的な1905年2月23日の最初の会合では、ポールが基本構想を話したがクラブ結成については話されず、2週間後にもっと会員を勧誘しようという事で解散したようです。

そして、第2回目の会合は3月9日にポール・ハリスの事務所で開催されました。出席者は最初の4人の他に新たに3人が加わり7名となりました。

5番目の会員:ハリー・ラグルズ(印刷業)

6番目の会員:ウイリアム・ジェンセン(不動産業)
7番目の会員:アルバート・ホワイト(楽器製造業)

「第5のロータリアン」と呼ばれる**ハリー・ラグルズ**は印刷業で、ミシガン州出身。

1回目にたまたま出られなくて2回目から参加しました。しかも、後のロータリーに影響を与えるロータリーソングの生みの親と言われています。

会員初年度にシカゴ・クラブの会計を務め、1908-1910年度にはクラブ会長、1912-13年度にはロータリー理事を歴任しました。彼の印刷会社で最初の「The National Rotarian」誌とロータリー歌集が出版されました。1959年10月26日、その生涯に幕を下ろしました。

ウイリアム・ジェンセン

職業分類は不動産業者

- ・1907年にシカゴ・クラブの幹事
- ・シカゴ・クラブで奉仕派と親睦派との紛争が起こったためシカゴ・クラブに嫌気がさしてロータリークラブを退会。

2回目・3回目が現在のロータリークラブの礎となる、かなり重要な会合だったことが分かりました。

そして、この2回目の会合では会員相互の理解を深めるという目的から、会場を各会員の職場で開くことが提案されました。この後2回目から3回目の例会がどうなっていくのか、さらにお話をしたいと思います。

第3回目の会合は1905年3月23日

シルベスター・シールの事務所で開かれ、出席者には更に2人の名前が追加されています。

チャールズA.ニュートン(保険会社)
アーサー・アーウィン(洗濯業)

この会合では、シルベスター・シールを会長に、ハイラム・ショーレーを記録係に、ウイリアム・ジェンセンを文書係(幹事)に、ハリー・ラグルズを会計に選任、そして新クラブの名称が検討されました。

この3回目の会合では、すでに現在のRIの定款にもある「連続4回欠席したる者は会員資格を喪失すべきもとする」という規定が決まったようです。また、会場がシールの職場だったことから石炭業界についての話をしたと言われ、これが最初の卓話ではないかと言うことです。

ここから会合は続き、ロータリーという名前に決まるまで、お話をします。

はじめ数カ月は非公式にブースター・クラブ(ブースターとは向上させるの意)と呼んでいました。

ロータリークラブの名前の由来ですが、Rotaryの名付け親はハリス?だと思っている方が多いと思います。

1905年3月23日の第3回の会合で、クラブ役員が選択されクラブの名称が検討されました。この時点で会員は9名。しかし、このクラブが「Rotary Club」として決定するには、相当な意見のやり取りがあり、簡単ではなかったようです。

この様に多くの候補が出ました
Booster Club(ブースター・クラブ)
The Round Table Club(ザ・ラウンド・テーブル・クラブ)
Conspirators Club(コンスピレーターズ・クラブ)
The Chicago Fellowship(ザ・シカゴ・フェロウシップ)
Blue Boys(ブルー・ボーイズ)
Chicago Circle(シカゴ・サークル)
The Lake Club(ザ・レイク・クラブ)
The FFF Club (Food-Fun-Fellowship Club)
(ザ・スリーエフ・クラブ)
Men With Friends(メン・ウイズ・フレンズ)
Friends in Business(フレンズ・イン・ビジネス)
Trade and Talk Club(トレード・アンド・トーク・クラブ)
Windy City Roundup(ウインディ・シティ・ラウンドアップ)

ハリスはこの中で、3番目のコンスピレーターズ・クラブを好んだといわれていて以下のようなやり取りがあったとのこと。

(割愛)

ポール・ハリスの案はあっさり却下だったようです。最後に誰かが言った。

「我々はお互いの事務所で、一種のローテーションを取り決めて、会合を開いている。ロータリークラブRotary Clubと呼んだらどうだろう。」

残念なことには、その言葉を誰が発したのか、幹事はそのことを記録していなかった。そして、職場をローテーションするからロータリークラブとなり7回目からは、職場ではなくホテルで会合が行われるようになりました。ということは、本来の「ロータリー」クラブは最初の6回だけだったのかもしれない。

日本のクラブでは基本的に、昼に集まり昼食をし、点鐘を鳴らし、歌を歌い、挨拶や報告、卓話などを行うスタイルが一般的です。

この「例会」が創成期にはどのように行われ、またいつから今のようなスタイルになったのか、例会のスタイルがどのようにして出来上がったのか現在行われている例会の様式は、けっこう早い段階で確立していたようです。

初期の会合が行われ決まったことを順に紹介します。

第1回 1905年2月23日

・一業種一名で親睦を深める会を作るという設立の主旨が話し合われる。

第2回 1905年3月9日

- ・事業の経営者、共同経営者、または会社役員でなければ会員になれないことが決められた。
- ・今後の会合は、会員の事業所を持ち回りしてはどうかという議論がされた。

第3回 1905年3月23日

- ・クラブの役員が決定
- ・ロータリークラブという組織の名前が決定
- ・役職も一年限りでローテーションすること
- ・例会出席をクラブ活動の根源と考え、四回連続して休むと会員資格を失う
- ・ポールの指名によって初代会長にシルベスター・シールが就任したことで、依頼されたことは、どんなことでも快く引き受けるというロー

タリーの伝統が生まれる。

- ・シールが石炭業界のことを話した。(卓話の始まり)

4回～6回

チャールズ・ニュートンが昼食を食べず遅刻したことを契機に、どうせ皆昼食を食べるのだから、一緒に食べる方が効率的だということで、昼食会を兼ねることに。

7回目以降

- ・昼食を食べる必要から、第7回はホテルで行われた。(シカゴのポーマーハウス)
- ・以降ホテルやレストランで開かれるようになり、やがて固定化。

例会の様式について

- ・親睦にひびが入るほどに白熱した議論の場を和らげるために、ハリー・ラグルズが歌い始めた。(ロータリーソングの始まり 1905年秋頃)
- ・初めは二週間に一回だった例会も、「二週間に一回集まれるなら、毎週集まれないはずはない。」という理由から週一回開くようになる。(毎週にしたのは1909年カリフォルニア州オークランドクラブが最初)

7回目にはほぼ今のスタイルになっていたこと。ロータリーソングが設立から半年後に実施。開催が毎週になったのが4年後と、かなり早い段階で今のスタイルが確立していたこととなります。

ロータリーには、ハイカイエスしかないというお話を先輩ロータリアンから聞きましたが、この伝統は3回目にして誕生していたのが驚きました。

また、初期のころから例会こそ今日のスタイルとほぼ同じスタイルで行われるようになりましたがクラブ自体の運営、親睦など行われていたことは現在とは大分違ったようです。

ビジネス寄りの組織で、奉仕という概念は全くなかったようです。

いかがでしたでしょうか？

ユニティ・ビルの小さな部屋で4人が集まって始まり、どのようにロータリーが誕生していったのか、少しはご理解いただけましたでしょうか。

次回の卓話は日本のロータリークラブ誕生を紐解く予定です。炉辺談話もお楽しみに。

ありがとうございました。

中学や高校の歴史の教科書の最初に「なぜ歴史を学ぶのか」というのがあって、そこでなんて言っているかという「歴史は過去の出来事をただ覚えることではなく、これまで人類が歩んだ道を振り返ることで、現在を見直し、将来のためにどのような選択をすべきか、どのような努力をするのか、それを考えるのが歴史を学ぶ目的です」そう記されています。

本日、ロータリーの歴史、それも創設期、初期のロータリーについて勉強しました。ポールハリスはじめ先人達の歩みを振り返り、我々ロータリアン、身の時代と対比させこれからどのようにそれを継続していくのか、また変えていくのか、そのためどのような工夫や努力をすべきなのか、ひとり一人が思いを馳せなければなりません。

広報委員会はこのような勉強会、炉辺談話ファイヤーストームミーティングなどの催しを通して、ロータリーの神髄に触れながら、ロータリアンとしての見識、格式を高めるよう、菅原正明委員長以下メンバー一同努めていく所存であります。

次回は日本にロータリーを紹介、持ち込み、ロータリーを根付かせた米山梅吉について勉強したいと思えます。



ニコニコBOX

- 西野義人 (熊本へ行ったら藤井さんと新聞に出てしまいました)
- 菅原正明 (クラブ広報委員会卓話ありがとうございました)
- 藤井徹也 (熊本江南ロータリークラブ例会に出席しバナー交換しました)
- 赤崎幸三 (先週の日曜日4時間かけて会社の今後について有意義な打ち合わせをしました)
- 岸田理 (昨日結婚記念日で寿司を握りました)
- 宮本秀樹 (8/29は焼肉の日ということで)
- 加藤栄吉 (室蘭福祉記念大会で市長賞を授与されましたので)
- 船水尚行 (誕生記念にあたり)

各種記念日



創立記念日 上口喜代志 会員 8月20日



出席報告

会員数	49名	出席者数	24名
出席免除者数	0名	欠席者数	25名
出席義務者数	49名	出席率	48.98%

前回までの例会の報告

第2435回 (9月2日) 例会記録

本日のゲスト

ご家族
猪俣久美子様・加藤千栄子様・川原 望様
岸田悠美香様・佐藤ゆかり様・徳永悦枝様
藤井千代子様・本間美津子様・高橋虎次郎君
松田潮美様・宮本遥介様・宮本茉耶様
米塚みつ代様
米山記念奨学生
アニス ジャズワニ キスティナ ビンティ ヒシャム 様

【会長報告】

- 9月5日(火)の例会は振替休会となっております。お間違えの無いようお願い致します。

出席報告

会員数	49名	出席者数	20名
出席免除者数	0名	欠席者数	29名
出席義務者数	49名	出席率	40.82%

前回例会のプログラム

「親睦家族移動例会」9月2日(土)

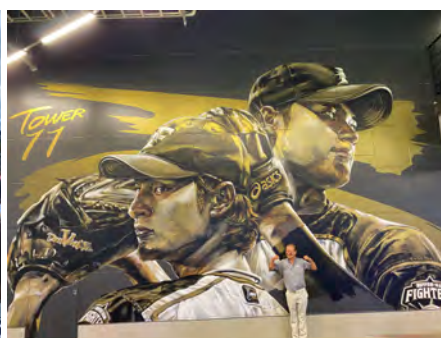
於：エスコフィールドHOKKAIDO

- 9:45 アパホテル室蘭集合
- 10:00 出発
- 12:00 球場到着
各自食事(持込不可)
※現金の使用はできません
- 14:00 試合開始
- 17:30 試合終了(予定)
- 19:30 アパホテル室蘭到着(予定)

親睦活動委員会
クラブ管理運営委員会

9月2日(土)親睦家族移動例会が行われました。初めてのエスコフィールド北海道、日ハム vs オリックス戦へ炎天下で人は沢山いて、とにかく暑く、途中に雨で屋根が閉じる場面もありました。飲食店も多く回りきれないほどでした。日ハムは負けてしまいましたが楽しい時間を過ごすことができました。皆様とても暑い中お疲れ様でした。

親睦活動委員会
委員長 宮本 秀樹





第1回クラブ協議会 議事録

日時：2023年8月29日（火）18：30～

場所：アパホテル室蘭 3階

出席者：藤井徹也・岸田 理・西野義人・菅原正明
 本間 信・川本康裕・赤崎幸三・太田義則
 宮本一章・宮本秀樹・本間寛菜・田中健太
 川原陽一・西城 明・斉藤 聡（文責）

【協議事項】

協議事項①ガバナー公式訪問 について

- * 添付資料 昨年度ガバナー公式訪問式次第
 - 〃 席次
 - 〃 例会席次他
- 10月31日(火) 10:30 ～ 会長・幹事 懇談会
- 11:30 ～ クラブ協議会
- 12:30 ～ 例会(ガバナー講話)

- * オブザーバー参加者がいない可能性があるので、ガバナーへの質疑をどうするか
 - 無理して実施する必要はない
 - せっかく来ていただいているので、会の運営等について各委員長から質疑をしたらどうか
 - ある程度知識がないと質問ができないので、オブザーバー参加者には荷が重い
 - 多くのクラブを回ってきているので、他クラブの状況を質疑してはどうか
 - 地区大会直後なので、その感想を発言してみてもどうか

- * 食事は通常例会よりもグレードアップする
- * ドレスコードは次回までに確認する

次回のクラブ協議会は10月17日(火)18:30～とする